

文京区基本構想推進区民協議会委員からの意見一覧

No.	主要課題等		意見の内容	区の考え方
1	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 1 妊娠・出産・子育ての 切れ目ない支援	保健サービスセンターの立地が妊産婦や赤ちゃんを連れて行くのにアクセスし易い場所とは言えないが、ネウボラ面接においては家庭環境など詳細のヒアリングがなされていた。 乳幼児健診についても親身で信頼できる内容であった。	区には2か所の保健サービスセンターがあり、お住まいの住所ごとに管轄を指定しております。妊娠期からの継続的な子育て支援、健診等や母子の交流の場としてご利用いただきたいと思いますと考えております。今後とも、安心して子育てができるよう支援を行ってまいります。
2	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 2 保育サービス量の拡 充・保育の質の向上	待機児童を一人まで減少は、大変素晴らしい成果だと思います。行政の力を感ずます。 一方、定員に対して空きのある保育所も出始めているという課題も生じているとのこと。その空きを一時利用に活用していくことはできるのでしょうか。保育サービスを気軽に利用できることで母親の孤独感を解消し、また出産育児でキャリアを中断した女性の社会復帰の一助になると思います。	定員に空きがある保育所につきましては、一時預かり事業(余裕活用型)を実施することができます。実施は各園の判断によりますが、今年度は7つの保育所等から事業開始の申請をいただいているところです。
3	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 2 保育サービス量の拡 充・保育の質の向上	待機児童数がかかり減ったことはすばらしいと思いますが、今後の未就学児の人口減に伴い、保育園が余剰する場合に新設した保育園をどのように有効活用する(出来る)のかも考えながら対応いただきたいと思います。 コロナで運動量が減っていることが将来どのような影響を及ぼすかを考え、保育カリキュラムを更に充実させて頂きたいです。	私立認可保育所については、基本的には継続して運営されるものと考えておりますが、定員に空きが生じた際は、一時預かり事業の実施を各園において検討するなど、運営事業者の意向を聞き取りながら対応してまいりたいと考えております。 なお、運動量減少への懸念に係る対応につきましては、「幼児教育・保育カリキュラム」のより一層の周知を図り、体を動かす楽しさを含めた遊び等を通して「生きる力の基礎」の育成を図ってまいります。
4	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 3 子育て支援サービス の安定的な提供	支援サービスの対象年齢引き上げが未就学児までとされるのはなぜでしょうか？小学生(特に低学年)も1人で留守番は出来ません。病児・病後施設も小さなお子さんメイン(それはそれで良いですが)となっており、まだケアの必要な小学生層に行き届いていないかと思ひます。もう少し年齢層を広げるなどで検討頂けますと幸いです。	ベビーシッター利用料助成制度については、都の事業内容の拡充に合わせ、本区でも対象年齢を未就学児までとして開始しました。当該制度や病児・病後児保育事業は、乳幼児の利用が相対的に多い状況にあります。一方、昨今の保育事情から、ベビーシッターの不足が懸念されており、ニーズ量に見合う子育て支援サービスの確保が課題となっています。各家庭がより良い子育てを選択できるよう、家庭を取り巻く環境の変化や各種事業の性質、類似事業の有無等を踏まえ事業を構築し、引き続き、子育て支援サービスの安定的な提供を図ってまいります。
5	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 4 子どもの発達に寄り 添った支援体制の整備	教育センターの施設は安全性に配慮された清潔感のある施設であり、職員も意識の高い方々が勤務されていると感じます。ハンディキャップのある子供を持つ親に取ってはありがたい心の拠り所になっています。 医療的ケア児支援体制の構築は障害者施設整備促進事業は実務を行われている方や家族の意見も取り入れながら推進して頂きたいと考えます。	医療的ケア児支援体制の構築につきましては、学識経験者、医師、障害児通所支援事業者など関係機関を構成員とした連絡会の場において課題の共有を図っており、今後はご家族に対し、支援に係るニーズ調査を実施する予定です。 民間事業者による、医療的ケア児を受け入れる障害児通所支援事業所の整備につきましては、医療的ケア児に係るニーズ等を十分認識しながら進めてまいります。
6	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 4 子どもの発達に寄り 添った支援体制の整備	児童発達センターでの療育のニーズは身近に感じます。幼児において様々な発達段階に応じた支援の行政サービスがなされているというのも同様に感じます。 一方、区立小では支援級は各校に設置されているわけではありません。通学の負担は言わずもがな、発達と成長に応じて支援級から普通級に変更しようと考えたときに、転校を余儀なくされるというのは当事者にとって相当の負担となることは想像に難くないことと思ひます。小学校へあがるときに支援が途切れないように、保護者と行政をつなぐ窓口が一本化され専門家(コーディネーター的な存在)があればより療育の効果も保護者の安心感も大きくなると感じます。 専門家の拡充が施策としてありますが、教員や保護者においても意識・知識・技術の面で個人差が大きく、継続的な研修や勉強会の形で知識を備えて、学校・地域・保護者・行政、社会全体として子供の発達に寄り添った支援体制が構築されたと願っております。	保護者と行政をつなぐ窓口を一本化することについて、相談業務は教育センターが窓口となっておりますので、教育センターにご相談いただければ、必要に応じてそこから関連部署につなぐことができます。教員の研修については、教育指導課及び教育センターにて、教員の経験年数や職層に応じた研修を継続して行っております。引き続き教員の専門性向上のため、研修の充実を図ってまいります。なお、保護者の方々が自主的に行う勉強会等に講師が必要な時はご紹介することが可能です。
7	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ 5 (仮称)文京区児童 相談所設置に向けた 総合的な支援体制の 強化	区内に初の児童相談所が開設されることありがとうございます。多様な児童の家庭や本人の問題を考えると正規職員だけでは大変ではないでしょうか。サポーター的な理解や情熱のある区民や社協のボランティア学生などと、開設前に研修を積み協働できればと思います。また、区の支援でサテライトな協力者や場所を確保できればいかがでしょうか。もちろん守秘義務を課します。(協力者:教員、コーディネーターなど)	児童相談所の運営に当たりましては、一時保護をしているお子さん等のプライバシーの保護や安全の確保といった課題もございます。そうした状況も踏まえて、ご指摘のようなボランティア等、様々な方との協働の可能性について、今後検討を進めてまいります。

No.	主要課題等		意見の内容	区の方考え方
8	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	5 (仮称)文京区児童 相談所設置に向けた 総合的な支援体制の 強化	児童相談所建物の建設工事を含め、児童相談所の開設・運営に当たっては、隣接する傳通院様と様々な協議をしながら、進めてまいります。
9	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	6 子どもの貧困対策	子ども宅食プロジェクトでは「見えない貧困を見えないまま支援する」ということをコンセプトに実施しております。この不可視化の取り組みにより、これまで支援につながらなかった方々に区の貧困対策としてのサービスや支援を直接周知していく取り組みを継続的に実施しております。また、文京区の子ども食堂は、食事の提供を含めた居場所づくりなどへの支援として位置づけており、貧困の問題に限らず、様々な問題を大きくする要因になる社会的孤立対策の一つと考えております。地域と子育て世帯が顔見知りになる中で様々な相談を受けることもあるため、住民同士の「お互いさま」の関係づくりを目指しております。また、難しい問題は地域福祉コーディネーターに相談が入り、専門職のネットワークにつなげる支援を行っております。引き続き、子育て世帯の抱える課題や背景に最大限配慮しながら、子どもの貧困対策に取り組んでまいります。
10	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	7 子どもの健康・体力 の向上	教育委員会及び学校は、部活動指導員の募集について、企業やNPO等と協働して行っていますが、部活動指導員の安定的な確保は課題となっています。区関連部署に関わりのある諸団体にも協力を求めるなどして、高い指導力を持った指導員の確保に努めてまいります。なお、指導員の配置については、各校の特色を生かしたものとなっております。
11	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	7 子どもの健康・体力 の向上	コロナ禍で子供達の運動機会が減ってしまい、体力作りをどのようにするのが課題が多いかと思えます。“必要に応じた”実践ではなく、各学校のカリキュラムに運動の機会を積極的に設ける事が必要ではないでしょうか？(例えばクラス内で海外の学校とビデオでつなぎ、ゲーム感覚で体を動かしたりしたら、international communicationにもなるのではないかと思います)
12	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	7 子どもの健康・体力 の向上	区のスポーツイベントも再開され、子どもたちが区の施策により新しいスポーツに触れる機会は多く、感謝しています。ただ応募多数で抽選に当たらない、内容がかなり初歩的という印象もあります。スポーツが得意な子も楽しめる内容であるとしてより全体として向上していくのではないかと思います。
13	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	7 子どもの健康・体力 の向上	継続的な運動機会の確保という意味で言えば、公園や校庭が一番身近かと思えますが、公園の遊具も安全重視とは思いますが、もうすこしダイナミックな遊具があっても良いという意見を聞きます。

No.	主要課題等		意見の内容	区の方考え方	
14	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	8 新しい時代の「学力」 向上	<p>プレゼンテーション能力の向上の取り組みは大変興味深く、長期的な成果を楽しみにしたいと思います。</p> <p>英語については能力向上と同時に、文化の相互理解が肝要かと思ひ、行政が取り組むことで非常に大きな枠組みで取り組みができるのではないかと期待します。帰国子女も多いですが、受け入れにおいて積極的な取り組みがあればと思います。</p> <p>ICTについてはハード面の整備がコロナ禍で一気にすすんだと感じています。さらに学校での充電設備など周辺機器の整備が進むことを期待します。</p> <p>オンラインと対面のハイブリッド授業についてはどうでしょうか。</p> <p>子どもたちがオンラインで授業を受けるということをコロナ禍で体験しましたが、6時間授業をオンラインで週5日といったことは子どもには集中力・体力の両面で厳しく、座学という面では授業の配信で、通常授業の半分くらいの時間でよいと感じていました。</p> <p>集えないときの話し合いは全員オンラインなら運用やルールの整備で発言や意見のまとめは子どもたちだけでもできると思いますが、対面のグループにオンラインのグループが混じった話し合いはファシリテーターがいないと成立しないのでは？とオンライン生活を体験して思いました。</p>	<p>ご意見のとおり、英語能力の向上等につきましては、重要であると認識しております。</p> <p>ICT機器の整備につきましては、国より示されたGIGAスクール構想に基づき、令和2年度中に、タブレット端末及び通信環境の整備を行いました。</p> <p>また、充電設備においては、各校、各クラスに充電保管庫を整備しております。座学の授業の半分程度をオンラインで行うことについては、国や都の動きを注視し、子どもたちの実態に応じて適切に対応してまいります。</p>
15	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	8 新しい時代の「学力」 向上	<p>低学年からタブレットに触れ、ゲーム感覚でタイピングもマスターさせるような取り組みは素晴らしいと思います。タブレットを利用して英語の音楽やゲームをするだけでも、英語のヒアリング能力向上にとっても役立つのではないのでしょうか。ペーパー上の試験よりも実践で役立つ英語力をどのようにつけていくかが課題かと思ひます。大人の先生のみならず、前項(整理番号11)で記述したように、同学年のような子供達とのコミュニケーション授業があるとよいなと思いました。</p>	<p>タブレット端末を利用して英語のゲームを行ったり音楽を聞いたりすることについては、授業の中で実施することが可能であり、リスニング能力の向上に役立つ可能性があります。子どもたちとのコミュニケーション授業については、特別活動を中心に行われております。他とのコミュニケーションを通じて、学びを深めていくことは重要です。引き続き、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成に努めてまいります。</p>
16	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	10 不登校への対応力 強化	<p>新型コロナウイルス感染拡大による休校の影響もあり、起立性調節障害による不登校が増加している旨を目にすることがありますが、その点に対する対応に関して特に記述がありませんでしたので、何らか対策を講じる必要があるのではないかと感じました。</p>	<p>起立性調節障害を含め、不登校の要因は様々にあることを踏まえ、学校と心理、福祉等の専門職との連携を図りながら、児童・生徒の状況に応じた支援を行ってまいります。</p>
17	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	12 就学児童の多様な 放課後の居場所づくり	<p>多様な居場所づくりというのはとても難しいかと思ひますが、持つべき課題ではないかと思ひます。学童は学年が上がるにつれ、子供の興味もうすれる様です(1年生が多いからでしょうか?)。</p> <p>一方で、コロナにより学校内の放課後クラスは曜日が限られてしまっていたり、子供の居場所が思うように確保出来てない気がいたします。</p> <p>一人一人、また学年ごとにもニーズが違うかと思うので難しいとは思いますが、放課後安心して過ごせる場所を増やして頂けたらと思ひます。(民間学童、民間の習い事との提携など含め)</p>	<p>区では各ご家庭のニーズにあわせて選択していただけるよう、児童館、放課後全児童向け事業、育成室、都型学童クラブ等、児童の多様な居場所づくりを進めています。コロナ禍において、各種事業については、ソーシャルディスタンスの確保など感染予防対策をとりながら運営しており、利用しづらい部分もあるかもしれませんが、ご理解をいただければと思ひます。</p>
18	戦略点検シート	基本政策1 子どもたちに輝く 未来をつなぐ	13 青少年の健全育成 と自主的な活動の支援	<p>対面でのイベント、事業の開催が困難な中、機会提供という面では非常に困難な状況が続いているが、大幅な計画変更は困難であると考えられる。時間的にも限られており、ゼロベース、もしくは新たな仕組みを作るのではなく、他団体の力を借りるのも手腕を発揮できるのではないのでしょうか。文京区内には青少年の興味をそそるような事業、イベント等を企画しているNPO団体、公益社団法人等も多数活動しているので、橋渡しの役割として青少年の自主的な活動の支援に繋げるという事も選択肢の一つとして考えられるのでは。イベント等を企画する側の実情としては運営側の人員が集まらず、団体同士の横の繋がりで何とかやり繰りをするも、運営側の人不足についてはどちらの団体も頭を悩ましていると考えられる。運営側の人員不足によりイベント自体の縮小、仮に開催に至った場合も、スタッフの疲弊感是否めないものとなってしまっている。運営への増員と青少年への機会提供というウィンウィンの関係によって、イベント、事業がより活気のあるものとなることは双方のみならず、三方よしとなるのではないのでしょうか。</p>	<p>青少年の自主的な活動に区内NPO団体等を活用するのご提案ありがとうございます。ボランティアや青少年の運営側への参画については、区としても課題と認識しており、地域連携ステーション「フミコム」において連携が図れないか検討を進めたいと考えております。</p> <p>また、青少年プラザ(b-lab)の利用者である中高生世代を対象に青少年健全育成会の運営に関わってもらうことも予定しております。</p>

No.	主要課題等			意見の内容	区の方考え方
19	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	14 介護サービス基盤の充実	<p>介護サービスとして、特別養護老人ホームを充実させていくことは、とても重要なことだと思います。現在、文京区内に8つの施設がありますが、それについて何点か教えていただきたいと思っています。</p> <p>①トータルの入居希望者と施設の定員を考慮すると、最終、どのくらいまで増やしていけばよいと考えているのか。民間の有料老人ホームもあるので、そちらとのすみ分けも考えておられるのか。 → この課題でも、小日向住宅跡地に建設する方向で進められているし、最近になって特別養護老人ホームを積極的に増やしておられるので、長期的な展望をどのように考えておられるのかお聞きたい。</p> <p>②現在の入居タイプとして、「従来型」と「ユニット型」があり、最近の施設は、「ユニット型」を充実させているように見える。それぞれの長所と、今後は「ユニット型」を増やしていこうと考えておられるのか。</p> <p>③現在の特別養護老人ホームの申込み基準だと、介護度が軽度な人はなかなか入居が難しいように思えるが、介護度が軽度な人も一緒に生活した方がよい面があるのではないかと。特に「ユニット型」を進めていくのであれば、同じグループ内に、介護度が軽度な人もいたほうが良い面があるのではないかと。(ほとんどの人が、ほぼ寝たきりに近い状況だと、グループとして機能しないと思う。父も民間の有料老人ホームに8年近くいたが、最初のうちは介護度1だったので、施設内の生活を他の入居者と一緒に楽しんでいたように思っています。)</p> <p>④入居者を男女別に見ると、8割以上が女性になっているのではないかと。致し方ないとは思いますが、それで特に問題となることは無いか。</p> <p>⑤いくら施設があっても、介護サービスの従事者がいなければどうにもならないので、今後も従事者の人員・給与面など、充実させていくことを進めてほしい。</p>	<p>①中・長期的な視点を見据えた整備方針としては、医療や介護が必要な高齢者が可能な限り在宅で安心して暮らせるよう、在宅医療や介護サービスを提供できる体制を検討するとともに、施設整備を進めることとしており、現時点では特別養護老人ホームの床数の引上げは考えておりません。今後とも利用状況や区民ニーズ等を勘案しながら、計画期間ごとに必要に応じて対応していきます。なお、民間の有料老人ホームと特別養護老人ホームにつきましては、入居要件の要介護度、区民入居の優先度、利用料等において違いがあるため、利用者において施設の選択が行われているものと認識しております。区としては、各施設の種類ごとに整備計画を検討しております。</p> <p>②各入居タイプの整備の経緯につきましては、平成14年度に国が特養の居住環境を改善し、入所者の尊厳を重視したケアを実現するため、補助制度を見直し、全室個室・ユニットケアとする原則を打ち出しました。それを受け、都においても平成18年度から、創設の特別養護老人ホームはすべてユニット型で整備することとなっております。</p> <p>一方で、ユニット型は従来型と比べて居住費が高く、利用者負担への配慮を望む声があったため、平成22年度から都では、創設についてユニット型での整備を基本としつつ、定員の3割以内の多床室補助を行っております。今後、補助の範囲内で整備する多床室においては、入所者のプライバシーへの配慮、容易にユニット型への転換が可能などの条件が求められます。</p> <p>文京区では、これらの方針に基づき、整備しています。</p> <p>③平成27年度より、国において、待機者数及び介護費用の抑制のため、特別養護老人ホームの入所基準が厳格化されたものです(原則、要介護3以上)。当区としても、国の基準による運用を継続してまいります。</p> <p>④令和3年10月1日時点の入居者のうち、女性は約8割です。文京区特別養護老人ホーム入所基準に基づいて、各施設で適正な入居がなされた結果であり、特段の問題は生じていないと認識しております。</p> <p>⑤今後、高齢者数増による介護需要の増加に伴い、介護人材の確保は重要な課題と認識しております。国の公的価格評価検討委員会においては、介護職の処遇改善について検討が進められております。また、社会保障審議会介護保険部会においては、介護職員のさらなる処遇改善を介護人材対策の最も重要な柱としています。区としても、区内介護サービス事業者との協働によるイベント「アクティブ介護」を通じて働きがいや魅力を発信するとともに、資格取得のための研修受講費の補助、介護施設従事職員に対する住宅費補助など、今後も働きやすい環境の整備への適切な対応に努めてまいります。</p>
20	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	15 在宅医療・介護連携の推進	<p>在宅医療を推進していくためには、近くの「かかりつけ医」の充実もあるが、やはり「訪問医療」の充実のほうがより重要だと考える。区役所前の文京ガーデンに様々な医療機関を集めているように感じるが、「訪問医療」を行なっていただけのような医療機関ではないように思う。「訪問医療」は、実施する側は非常に大変だと思うし、推進するのは難しいとは思いますが、この課題の施策として、「訪問医療」の充実をいかに推進するか、ということに、もう少し注力すべきではないかと思う。</p>	<p>高齢化の影響により、今後、訪問診療の利用者の増加が見込まれており、訪問医療の充実が重要であることを認識しています。今後、訪問医療の充実に向けた取り組みの推進に努めてまいります。また、「かかりつけ医」についても、かかりつけ医が訪問診療を行ったり、訪問診療が可能な医療機関の紹介を行う場合がありますので、併せて充実を図ってまいります。</p>
21	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	15 在宅医療・介護連携の推進	<p>医療は良質かつ適切で安全が医療法によって要請されています。そしてそのための手続として患者・家族と医療者との情報と決断と方策の共有(インフォームド・コンセント等)が求められています。地域医療の推進としても、患と医とのかかる信頼関係、自立的患者・家族の形成を確立するための教育の推進も必要のように思います。</p>	<p>患者・家族を含む地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要となった時に必要なサービスを適切に選択できるよう、講演会等の開催、パンフレット等の作成、相談窓口の設置などを実施しています。今後もこのような取り組み等を通して、地域住民への普及啓発を進めてまいります。</p>
22	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	20 地域共生社会を目指した総合的・包括的な相談支援体制の整備	<p>複雑化・複合化した課題を抱える人を支えるためにさまざまな分野、機関のネットワーク作りが進んでいると実感します。社協の地域福祉コーディネーターが中心となり多機能な居場所づくりを推進して地域共生社会の拠点ができています。今後さらに区内全域に多世代・多機能な居場所が出来、常に誰かが常駐するなど信頼できる場となり、人々が集い、課題がある人は誰かに話すことで、複雑化しないうちに解決の糸口が見いだせるようになることを願っています。そこに集う町会、民生委員などを含む住民が、専門職の方々と協働して地域課題に対応できる地域が増えるといいと思います。</p> <p>「No.17 【地域包括システムの深化・推進③】介護予防・地域での支え合い体制づくりの推進」にも関わってきますが、元気な高齢者や活動可能な障害者には地域の居場所で当番を担当してもらうなど活動の場を作り、力を発揮してもらうことで、社会的役割、生きがい、介護予防に繋がると考えます。</p> <p>生活福祉課に「ひきこもり支援センター」が設置され1年目でこのように多くの相談が寄せられたことは、素晴らしい成果と存在感だと思います。当事者や家族は相談場所を探していたのだと思いますので、今後当事者や家族の希望に沿うような支援が出来るように、支援人材の確保や支援内容を充実して頂きたいと思っています。</p>	<p>地域共生社会を目指した取組みについてご意見を賜り、ありがとうございます。</p> <p>身近な地域で日頃から気軽に利用でき、困りごとや悩みがある際には、話を受け止めてもらえる居場所を、区内9か所を目標に設置し、地域福祉コーディネーターを兼務する相談支援包括化推進員を配置して連携を図ることで、複合的な課題や制度等の狭間にある方への対応に取り組んでおります。</p> <p>このような多機能な居場所の運営をはじめ、住民の方がサービスの利用者だけでなく、担い手として主体的に活躍できる場や機会を設け、その取り組みの支援を行いながら、地域住民、専門職など様々な立場の方々とともに、地域共生社会を目指した総合的・包括的な相談支援体制を築いてまいりたいと考えております。</p> <p>ひきこもり支援を行う支援従事者の人材育成については、研修を継続して実施し、スキル向上を図ってまいります。また、支援従事者が相談できる体制や、複数の支援機関で連携して支援が行えるような体制を作ってまいります。</p>

No.	主要課題等			意見の内容	区の考え方
23	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	21 障害者の自立に向けた地域生活支援の充実	<p>障害者が地域で親なき後も暮らしていけるようにすることは、保護者たちの強い願いであり、人権の点からも大切です。障害者の働く場や安心して暮らせるグループホームの増設と充実を、今後も推進して欲しいと思います。</p> <p>基幹相談支援センターの相談件数が増えており、精神の疾患を抱える人が増加していることが分かります。高齢者にも精神疾患と他の課題を複合的に抱える人が増えているので、「高齢者あんしん相談センター」と「地域生活支援拠点」は協働する場面が多いと聞いています。3年度の富坂・駒込2地区設置で3地区に出来たこととなりますが、大塚地区での開設予定はどのようになっているか教えて頂ければと思います。</p>	<p>障害者が地域の中で自立した生活を送れるよう、公有地だけでなく民有地も含め、グループホームの整備を推進してまいります。</p> <p>大塚地区の地域生活支援拠点は、令和4年度に開設を予定しております。</p>
24	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	23 障害者差別の解消と権利の擁護	<p>公共施設の設備等はオリンピック・パラリンピックを機会にバリアフリーに改善されたと感じます。しかし障害者の希望は施設改善だけではない、人々の優しさや心のバリアフリーだということを耳にします。</p> <p>子どもから大人までいろいろな年代の人へ、障害や合理的配慮の正しい知識を知らせることは大切だと思います。同時に、障害者が街の中で一緒に過ごしている自然な状況があれば、子どもたちは障害者を知り、心のバリアフリーは育つと思います。そのために、区立公園の何か所かに、障害児も共に遊べる遊具や設備を作ることが良いのではないかと考えています。財政の問題にも関わるかと思いますが、お願いしたいと思っています。</p>	<p>公園を再整備する際は、区民参画による意見交換会を行い、地域に合った公園整備を行っております。その中で、だれもが利用できる遊具としてインクルーシブ遊具を説明し、設置を検討しております。</p>
25	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	23 障害者差別の解消と権利の擁護	<p>精神障害者に対する地域生活支援についてはNo.21で述べられていますが、精神障害者差別解消・権利擁護について言及する必要があると考えます。</p> <p>障害者の中で精神障害者への偏見差別が最も強く、地域からの排除としての入院隔離、更には入院中の身体拘束が社会問題化する中で、区内の精神科医との連携の下で、精神障害者への偏見差別解消や人権擁護のあり方について、区の政策として検討する必要があると思います。</p>	<p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の規定に基づき、医療、介護その他の障害者の自立と社会参加に関する分野の関係機関が構成員となり、文京区において障害を理由とする差別に関する相談及び当該相談に係る事例を踏まえた差別を解消するための取り組みを効果的かつ円滑に行うため、文京区障害者差別解消支援地域協議会が設置されています。</p> <p>地域からの隔離や身体拘束については、病院のみならず、入所施設等支援の現場でも起こりうる障害者差別となりますので、関係機関により構成された文京区障害者差別解消支援地域協議会にて、専門的な知見に基づき障害者差別の解消に資する取組の周知・発信等について協議を行い、差別解消に向けた取組を推進してまいります。</p>
26	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	24 生活困窮者の自立支援	<p>コロナ禍で、生活困窮に陥った人が多いことはニュースや社協の報告などからも理解しておりますが、グラフを見て区内でもこのように増えていることに驚きました。該当者が多いひとり親家庭、両親がいてもどちらかが病気で働けない状況の家庭、外国人家庭への支援は特に必要であろうと思います。家庭の貧困は子どもの貧困となり、子どもには別の課題が起こることがあるようです。</p> <p>区が実施している「子ども宅食」「学習支援事業」などに多くの家庭が救われたことと思うので、今後も必要な人に情報が届くよう周知してもらいたいと思います。</p> <p>コロナ禍ではなくても、父子家庭や精神疾患のある母親が家事能力が低い場合などは、それらの支援はもちろん必要ですが、家事支援のヘルパー利用時間数を増やすなど配慮が必要であると感じます。</p>	<p>長期化するコロナ禍の中、生活困窮に関する相談件数が増加し、その中で生活困窮世帯で養育されている子どもの生活実態を把握する機会も増えております。</p> <p>子ども宅食プロジェクトでは「見えない貧困を見えないまま支援する」ということをコンセプトに実施しております。この不可視化の取り組みにより、これまで支援につながらなかった方々に区の貧困対策としてのサービスや支援を直接周知していく取り組みを継続的に実施しております。</p> <p>また、通常の学習支援事業の対象者に加え、コロナ禍で家計が急激に変化した世帯についても、学習支援事業の周知を行うことで、現に経済的に困窮している家庭の子どもへの学習の機会を作っております。</p> <p>子どもへの支援については、関係部署が連携し、子どもや家庭が必要としている支援につなげていくことが重要であると認識しております。</p>
27	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	27 がん対策の推進	<p>がん対策として、まずは早期発見ということで、各種がん検診を推進することは非常に重要だと思うので、引き続き最重要施策として取り組んでいただきたいと思っています。それと、「がん患者ウィッグ購入費用助成」のような、患者に寄り添う施策は、自治体ならではのきめ細かい活動なので、積極的に進めていっていただきたいと思っています。がんは早期に発見することによって、治る病気となってきていますが、手術はもちろんのこと、抗がん剤や放射線療法など、治療が他の病気に比べかなり過酷なものなので、治療の過程や治療後において、その治療に伴う肉体的、精神的な負担、また金銭的な負担がかなりあります。ウィッグの費用助成だけでなく、人工肛門になった人へのストーマ関係の費用助成など(これは、ある程度、保険でカバーできるのでしょうか、保険適用でない部分もあるのでしょうか)、保険適用されない部分でのきめ細かな施策を、今後とも推進していただきたいと思っています。</p>	<p>人工肛門(ストーマ)を造設された方へは、医療行為に対する保険の適用のほか、身体障害者手帳を申請することでストーマ器具等の購入費の給付をはじめ様々な支援を受けることができます。</p> <p>がん患者ウィッグ購入等費用助成事業は、抗がん剤治療に伴う脱毛等の外見的变化が及ぼす心理的負担や経済的負担の軽減を図ることを目的としておりますが、今後も引き続きがん治療に伴うがん患者の負担軽減に係る支援に取り組んでまいります。</p>

No.	主要課題等			意見の内容	区の考え方
28	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	27 がん対策の推進	がん対策の中で肝がん対策が必要のように思います。肝硬変・肝がんに発展する可能性のあるウイルス肝炎感染者は推定350万人とも言われていますが、現在でも肝硬変・肝がんを発症してはじめて自分の肝炎感染を知る方も少なくないようです。C型肝炎については治療法の開発も進みつつありますので、肝がん防止対策のための知識の普及と血液検査の推進が重要と思います。また、肝炎は感染症でもあり、歯科診療所等での患者差別もあり、偏見差別禁止の人権教育も重要と考えます。	文京区では、肝炎ウイルス検査(B型・C型)を40歳以上の方を対象に無料で行っております。また、検査の結果、陽性であった方へは東京都の制度を利用した精密検査のご案内を送付するなど、フォローアップを行っています。今後も区報やホームページ、チラシを活用し、肝炎の知識や検査を受けることの重要性の周知を進めてまいります。また、医療機関等に対する偏見差別禁止の人権教育については、関連部署と連携して対応していきます。
29	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	55 新型コロナウイルス感染症対策の推進	新型コロナウイルスについては今後の再拡大も備えて、保健所の相談窓口の強化、受け入れ先の医療施設が円滑に紹介できるよう区内の連携体制の整備、また自宅療養者が現れた際のケア体制の確認をお願いしたい。	今後は、第5波の経験を踏まえ策定しました「文京区版保健・医療提供体制確保計画」に基づき、感染状況に応じた全庁的支援を含む保健所の体制強化や、医療機関等との更なる連携の強化を進めるとともに、都の医療・療養体制の活用等により、緊急時も含め、発症前から療養解除後まで、切れ目なく対応可能な体制を構築してまいります。
30	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	55 新型コロナウイルス感染症対策の推進	ワクチン接種については、住民がネット又は電話予約しなければならないシステムとした理由は何だったのでしょうか。接種券の送付だけでも、区の職員の膨大な人件費が割かれていると想像されます。対象年代に絞ったら無作為に自動発送ができるようなシステムにしておき、送付順は無作為となっていることを区長が責任を持って説明するなど、効率的な運用方法がなかったか、職員の皆様が効率よく対応できる方法がなかったか、議会は適切な判断ができていたかをぜひ再確認いただきたいと思います。	1、2回目接種(初回接種)にあたり、特に優先接種対象とされていた高齢者の方にご予約いただく際に、想定以上にアクセスが集中したことにより、コールセンターの電話が繋がりにくかったり、専用サイトからの予約がスムーズにいかないなどして、大変ご不便をおかけいたしました。追加接種(3回目接種)につきましては、高齢者の方の予約に係るご負担を軽減し、近隣の施設で接種を受けられるよう、住所地に近い会場での接種日時を指定する「事前指定制」を導入いたします。
31	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	55 新型コロナウイルス感染症対策の推進	新型コロナウイルス感染症対策という点では、行政はよく対応して頂いたと思います。保健師さんはじめ担当部署の方々のご苦労に感謝いたします。一方、コロナで顕著になった保健師の不足は、子ども人口が増えている点からも課題だと思うので、増員を検討してもらいたいと思います。今後、コロナ禍がどのようになるかわかりませんが、感染した人がすぐに入院できるよう、ワクチン接種が順調に進むように区民の意見を聴きながら実施して頂けると良いと思います。	今年の夏の感染拡大時の対応での経験を活かし、感染者数等の感染状況の段階ごとに応じた今後の保健所の人員体制について、保健師を中心として、確認したところです。また、保健師は感染症対応だけでなく、区民の健康保持増進のための各種施策を担っており、適切な人員配置ができるよう引き続き検討してまいります。また、感染者の入院先の確保、コロナワクチン接種の推進については、国や都、医療機関等関係機関と連携しながら、引き続き進めてまいります。
32	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	55 新型コロナウイルス感染症対策の推進	感染症対策は正しい知識の周知に合わせて、感染者に対する偏見差別の禁止及び医療を受ける権利といった人権保障が不可欠です。従って、区民への人権教育を政策化する必要があると考えます。新型コロナウイルス感染症の問題においても偏見差別現象が指摘され、空気感染のあるこの感染症では偏見差別現象が感染拡大や感染者の医療を受ける権利の侵害にもつながります。	区としても、新型コロナウイルス感染症の感染者やその家族、医療従事者等に対する偏見やワクチン接種に関連した差別は、人権侵害に当たると認識しております。差別は許されないことを区報やホームページで啓発していくとともに、区民が感染症に関する不確かな情報に惑わされることがないように、感染症についての正しい知識と適切な予防対策の周知に引き続き努めてまいります。
33	戦略点検シート	基本政策2 健康で安心な生活基盤の整備	55 新型コロナウイルス感染症対策の推進	医療機関勤務者が多く住む地域でもある。医療者の負担軽減のためにも感染者を抑える学校教育や地域での講座、避難所運営者の訓練を徹底して欲しいと願うが、地域対策はどこが中心か？	学校教育における新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防については、保健の学習において、児童・生徒の発達段階に応じ、感染症を理解させた上で、予防するために自分たちが学校や家庭などで取り組むべき対策を考え、行動するよう指導しております。また、委員会活動や生徒会活動においても、感染症対策の標語を考え、ポスターを作成し、校内に掲示するなどの取り組みを行っております。避難所運営者の訓練につきましては、現在、各避難所運営協議会に対し、避難所における感染症拡大防止のための手順や運営手法を記載した避難所運営ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策編」に基づいた訓練を行っております。引き続き、本ガイドラインに基づいた訓練や避難所施設の利用計画の策定に取り組んでまいります。また、保健所では、区報・ホームページの活用、感染症に関する企画展や保健師による区民等を対象とした健康教育等の実施を通じて、感染症対策に関する正しい知識と予防策の啓発周知を引き続き行ってまいります。
34	戦略点検シート	基本政策3 活力と魅力ふれるまちの創造	30 中小企業の企業力向上	中小企業支援事業において、2020年の経営相談件数は大幅に増えているが、どのような相談があって、どのような支援を行ったのか教えて頂きたい。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者から資金繰り等の金融に関する相談が増加し、中小企業向け融資あっせん制度の新型コロナウイルス対策緊急資金等の活用につながりました。
35	戦略点検シート	基本政策3 活力と魅力ふれるまちの創造	33 文化資源を活用した文化芸術の振興	事案番号120は予算が大幅にかかっていますがそれはなぜでしょうか。文京ふるさと歴史館のホームページを今回初めて見ました。見やすくなるとより来館者が増えるのではないかと思います。	シビックホールについては、令和3年度から行う改修工事に関する経費を計上しておりますが、区の契約規定の変更により、経費の前払金を増額して支払うことが可能となったことから、当初予算に比べて、実績が増えました。ホームページのレイアウトについて改編する等わかりやすい情報発信に努めてまいります。

No.	主要課題等			意見の内容	区の方考え方
36	戦略点検シート	基本政策4 文化的で豊かな 共生社会の実現	36 地域コミュニティの 活性化	町会・自治会とマンション建設事業者との間で、新築マンション入居者の町会・自治会加入について事前協議を行うことのできる仕組みを構築したとありますが、どのような仕組みですか。また、この事前協議をすることで、加入促進につながる理由を教えてください。	区から新築マンション建設事業者に対し、マンション建設前の段階で町会・自治会が行っている活動内容や意義等を伝えるとともに、地域活動センターを通じて新築マンション建設該当地域の町会・自治会長等へ当該事業者の連絡窓口等を提供することにより、該当町会・自治会が当該マンションの竣工前の段階から町会加入に向けた協議を行うことができる仕組みです。町会・自治会が竣工後に当該マンションの管理会社等に対し、加入についての協議を持ち掛けても、既に町会への加入はしないことに決まっているケースもあるため、事前に協議をすることで町会・自治会への加入促進につながります。また、町会等が協議をしたくても窓口がわからないといったケースにも対応しています。
37	戦略点検シート	基本政策4 文化的で豊かな 共生社会の実現	38 東京オリパラ競技 大会の推進とレガシー の継承	コロナウイルス感染拡大に伴い様々な対応や今までにない決断が求められ大変な一年だったと思います。今回コロナ禍に際し様々なイベントが中止になったその予算、赤字も含め一覽で見たかったです。方法があったのかもしれませんが、私に届いた資料と日常情報ではわかりませんでした。中止になったイベントも徐々に再開されて欲しいと思います。難民選手団のホストタウンとして全国で初めて登録されたこと、とても有意義なことだと思います。	事業等に要した経費につきましては、決算特別委員会にて詳細を報告させていただきます。東京2020大会で高まった大会気運や障害者スポーツへの理解促進、ドイツおよびパラリンピック難民選手団とのホストタウン事業を通じて深めた国際理解、区独自ボランティアの募集等を通じて醸成してきたボランティアマインド等を一過性とすることなく、今後も大会のレガシーとして発展・継承してまいります。
38	戦略点検シート	基本政策4 文化的で豊かな 共生社会の実現	39 男女平等参画社会 の実現	この部会の課題を読むにあたり文京区が区民チャンネル、YouTube、CATV、SNSと言った様々な発信ツールを持っていることを知りました。この課題を含めその他の課題で相談窓口の周知啓発という言葉が目立ちました。文京区が持つ情報を発信ツールでいかに周知させていくか、その戦略を所管課の枠を超えて生み出せるとより魅力的な区になるのではと思います。今回の資料を読んで初めて知ったイベントもありました。YouTube登録しました。	文京区民チャンネル(CATV、YouTube)、区公式SNSは、広報課が所管・運用しており、各所管課からの依頼に基づき番組制作、SNSへの投稿を行っております。こうした情報発信ツールの活用について、再度、庁内に対し周知するとともに、情報の性質にあったツールで発信できるよう、必要な助言・提案をすることにより、今後も適切な情報発信に努めてまいります。
39	戦略点検シート	基本政策4 文化的で豊かな 共生社会の実現	40 人権と多様性を尊重 する社会の実現	パートナーシップ宣誓制度の開始は喜ばしいことですので、積極的に周知してほしいです。	パートナーシップ宣誓制度については、区内各施設へのチラシ配置やTwitter等での発信、SOGI啓発事業の実施時に案内するなど、積極的に周知していきます。
40	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適 で安全なまちづくり	41 誰もが暮らしやすい まちのバリアフリー化 の推進	東京医科歯科、順天堂の病院のある御茶ノ水駅界隈は駅や道路の工事の途中でもあり、バリアフリー構想とはかなり遠い状況にあるが、この地域の前々からの課題が駅にエレベーターがなく、道路の凸凹がある患者に優しいまちづくりであるが、事業の優先順位的にどうなっているのか？	御茶ノ水駅周辺である湯島一丁目は、文京区バリアフリー基本構想において重点整備地区別計画【都心地域】として定めた地域に含まれており、本計画に基づき、バリアフリーを推進しております。この地域の駅にエレベーターがないとのことですが、丸ノ内線の御茶ノ水駅には平成15年にエレベーターが設置され、JR御茶ノ水駅におきましても、平成31年にエレベーター及びエスカレーターが設置されております。また、道路の凸凹につきましては、工事中も含め、多様な利用者が困ることのないよう、各道路管理者において凸凹の除去等に配慮してまいります。さらに、お茶の水橋におきましては、橋の補修補強工事(令和6年度完了予定)とあわせて御茶ノ水駅側の歩道の拡幅が予定されております。なお、バリアフリー基本構想における各事業の実施時期につきましては、短期、中期、長期と分けて計画しておりますが、各事業やエリア等による優先順位は特に設けてございません。
41	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適 で安全なまちづくり	42 安全・安心で快適な 公園等の整備	災害時に利用度の高いシャワー付き個室多目的トイレを増やすとよいと思うが、そのあたりは実際あるのか？また、多目的トイレの設置を含む防災マップに記入してはどうか？トイレ近辺なカメラ設置もいろいろな意味で必要だと思うがどうか？	トイレを整備する際は、洋式化を行うとともに、多機能トイレを設置しております。また、区ホームページ等で公衆トイレの一覧を掲載しているところであり、よりわかりやすい掲載に努めるよう、関係部署と協議してまいります。また、防災マップへの掲載については、必要性の有無を含め、今後の参考としてまいります。なお、防犯カメラは公園の出入口等が映るよう設置しています。

No.	主要課題等			意見の内容	区の考え方
42	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	42 安全・安心で快適な公園等の整備	せっかく旧元町小学校と元町公園を形を変えても遺すことになった。90歳を超えた関東大震災経験者が健在だとしても、流石に語り部はできないと思うが、公園と学校をセットにした、また柱も太く階段幅も広く廊下も広い、モデル避難所として設計した背景などを、見学者だけでなく後世に語り継ぐ取り組みが必要であり防災教育としては有効だと思うが、計画はあるか？	旧元町小学校整備後の施設には、地域の方を中心にどなたでもご利用いただける「歴史展示・地域交流スペース」を設けます。同スペースは、主に、旧元町小学校及び元町公園が震災復興小公園・小学校として建設された歴史を伝える場として整備する予定であり、現在、具体的な展示内容等の検討を進めております。ご提案の、施設見学者以外へのアプローチについては、今後検討してまいります。
43	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	43 地域の特性を生かしたまちづくり	住民主体のまちづくりの主体は町会やマンション自治会等か？文京区は古くからある町と新興住民のマンション等がある町と分かれると思うが多様な意見を取り入れるにはどうしたら良いと考えているのか？	まちづくりの主体は、住民及びこの地区内に権利を持たれている方になります。地域の特性を生かしたまちづくりを進める上では、地域の課題や特性を共有する必要があります。その上で、説明会や検討会、アンケートなどにより、多様な意見を集約し、合意形成を図ってまいります。
44	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	44 移動手段の利便性の向上	コミュニティバスの新路線の運行を開始いただいたことに、感謝申し上げます。一方、自転車シェア事業については、サイクルポートの数があまり増えていない点、むしろ4箇所が廃止となっている点については課題認識がある。当区は、坂が多い地形もあり、電動自転車のシェア事業は移動手段の拡大への貢献度が高いと考える。その証拠として、利用登録者、回数の伸びは目を見張るものがある。今後はサイクルポートの設置数および設置間隔、また貸出可能な自転車数や、メンテナンス状態などを改善し、さらなる自転車シェア事業の拡大を期待したい。カーボンニュートラルが世界的な目標となる中で、電動自転車のさらなる利用促進を期待するものである。	自転車シェアリングのサイクルポートについては、現在、運営主体の(株)ドコモ・バイクシェアと拡充に向けて取り組んでおりますが、ポートの設置にはその規模や利用形態等、施設管理者との調整に様々な課題がある状況です。今後も(株)ドコモ・バイクシェアと連携し、サイクルポートの設置拡大に努めます。また自転車の配備や、バッテリー交換等のメンテナンス、AIの活用も含めた再配置業務の強化等により、更なる利便性の向上を図ります。
45	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	44 移動手段の利便性の向上	茨城沖震度5強のとき、自動車シェアリングで自転車が戻らない事案が複数あった区があるようだったが、災害時に有効な自転車の貸与で、この点をどう考えているか？	ご質問の内容について、運営主体の(株)ドコモ・バイクシェアに確認したところ、公共交通機関の運休等の影響もあり通常時よりも利用が増えたが、ポート外に放置される等の不正な利用が増えたという認識はないとの回答でした。自転車シェアリングは、地域内に設置したサイクルポート内であればどこでも自転車を借りたり返却したりできるという特性を持つ事業です。災害時においても、サービスが停止していなければ、同様の利用がなされるものと考えております。
46	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	45 地球温暖化対策の総合的な取組	CO2排出削減、気候変動対策に当たっての情報提供や意識啓発ということでしたが、文京区役所内部のCO2排出量の可視化1Fのパネルに表示、LED化や発電・コジェネレーションの取り組みを図示などするのは如何でしょうか。区役所省エネ施策・脱炭素可視化を事業化するような形です。行政自身の取り組みを示せたほうが、区民への取り組みへの情報発信も説得力が増すのではと考えます。	区では、「文京区役所地球温暖化対策実行計画」に則り、区の事務事業によって排出されたCO2等を年間実績として区ホームページで公開するとともに、毎年、区の地球温暖化対策の取り組み等をまとめた「文京のかんきょう」を発行しております。また、区民の目に留まり易いなど、より意識啓発につながる情報発信の方法については、引き続き研究を進めてまいります。
47	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	45 地球温暖化対策の総合的な取組 47 生物多様性と都市の発展・再生	気象変動等の環境問題と自然災害は密接な関係にある。したがって、総合教育としての講座を基本として、災害時に避難所になる学校との連携で、各学校で区民講座として開催するのが望ましくはないか？最近御茶ノ水橋から水道橋方面をみると白鷺が複数飛来し滞留在している。水道橋には鴨、鵜、たまに白鳥も見受けられる。白鷺は最近登場した気がするが、綺麗な川というより、地球温暖化が急速に進み、生物圏変化のせいかもしれないと感じたがそちらの状況を把握しているか？また、これをわかりやすい例として環境教室に使えるのではないか？また、東大との関連分野と連携した学校教育を展開したり、大人には構内ツアーを企画してはどうか？	地球温暖化対策の普及啓発のため、毎年6月の環境月間に区立小学校5年生に向けて、文京区地球温暖化対策地域推進計画の子ども向け概要版を配布し、気候変動に関する啓発を行っております。また、環境ライフ講座では、気候変動から生物多様性など区内の自然を体験しながら様々なテーマを取り入れて講座を行っておりますが、ご意見のとおり、関連施設や身近な自然を取り入れながら区民の方が参加しやすい講座を今後とも実施してまいります。

No.	主要課題等		意見の内容	区の考え方	
48	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	46 循環型社会の形成	コロナによりテイクアウトが増えた。コロナ前後のプラスチックゴミやリユース可能なその他の増減はどうなっているか？	文京区ではプラスチック廃棄物については可燃ごみの一部として収集を行っており、プラスチック廃棄物に特化した増減については把握できませんが、令和2年度の可燃ごみ量は令和元年度と比較して、1,031トン(2.6%)の増となっております。また、シビックセンターや地域活動センター等の拠点で資源として回収を実施しているプラスチック製ボトル容器については、令和元年度と比較して0.8トン(38.6%)の増、食品トレイについては、同1.3トン(28.8%)の増となっております。
49	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	47 生物多様性と都市の発展・再生	イベント系の開催による環境教育や緑化啓発活動は今後もなかなか厳しいのではと推察します。ただ、散歩をする人は増えているのではと思いますので、この機会に、公園などに植えている植物の簡単な解説看板や植栽計画の説明の表示など、緑地での新しい発見があるような事業を普及活動として行うのは如何でしょうか？	区内の身近な動植物の写真を区民の方より募集した「生きもの写真館」を区ホームページに公開していますが、今年度は写真館で集めたデータを基に、区の生物多様性をまとめた生きもの図鑑を作成し発行します。図鑑には区の自然環境や生息環境の特徴等を掲載し、生物多様性への関心を高められるような工夫を取り入れており、今後区内の生物多様性にかかる普及啓発に活用いたします。また、区民を対象とした、自然に触れ、樹種の特徴や性質、由来等について、講師の説明を受けながら散策する自然散策会を行っており、今後も、公園を含めた区内の緑地を対象とするイベントを実施していきます。
50	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	48 地域防災力の向上	住民の行政依存を、いかに無くすかということが課題になると考えています。行政は、出来ることではなく、出来ないことを伝えるべきであると考えています。巡回講習などという形ででも、対面に立って、隠すことなく「できないこと」を、しっかりと伝えるべきであると考えています。ひいてはそのことで住民は、自らの命は自らが守るしかないという思いを持つことになるかと思えます。	災害対策の基本である「自助・共助・公助」のうち、自分の身は自分で守る「自助」や、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の大切さを認識していただくための啓発が重要であると考えております。引き続き、各種防災訓練や地域の防災講話等の機会を通じ、丁寧に説明を行い、理解を広めてまいります。
51	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	48 地域防災力の向上	まず、公助がどこまで進んでいるかいないかを示して、その上で、自助共助の啓発を進むべきであるし、また、連携づくりがいかに大切で、しかし、難しいかを経験談等の講演をしてもらうなどして、町会役員からまず認識を改めてもらうことを急いでやるべきではないか？	災害対策の基本である「自助・共助・公助」については、区報、区ホームページはもとより、各種防災訓練・イベント、防災講話等でお伝えしているところです。また、各避難所運営協議会の代表者を対象とした「避難所運営協議会全体会」においては、実際に被災地へ行かれた経験がある町会役員にご講演いただくこととしており、引き続き地域防災力の向上に努めてまいります。
52	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	49 災害に強い都市基盤の整備	先日文京区の一部でも発生した水道管の破損事故が特に印象に残っております。水道局は管轄外なのかもしれませんが、水道管や道路などの耐用年数の確認は十分に行っていただき、交換・取り替え工事が必要な場合はきちんと予算の確保・作業の実現を行っていただきたいと思えます。	都市インフラ設備の点検は、各企業者が定期的実施しているところですが、事故を受けまして、道路法に基づき適正な維持管理を行うよう、改めて注意を促しております。
53	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	49 災害に強い都市基盤の整備	行政主導ではなく避難所運営者主導プログラムに変換していくことが大事だと思うが、そうした地域や避難所は存在するのか？開設キットが地域の実態把握の上作られているかを避難所運営者が確認しているか？区民防災組織は災害前から機能する仕組みになっているか？また老若男女の比率は各避難所どうか？私立校避難所はあるか？そちらを増やす取り組みはどこまで進んでいるか？町会に加入しないマンション住民への対応はどう考え、どう働きかける予定か？	避難所運営は、地域の方を中心に構成する避難所運営協議会が行うこととしており、28の避難所で必要な訓練を実施しております。避難所開設キットについては、避難所運営協議会や地域の方から意見等を頂き、追加修正を行っています。また、自主的に訓練を実施している町会等の区民防災組織があり、構成としては、地域の実情に精通している町会長等を中心に、高齢の方の割合が多い傾向があります。正確な年齢構成や男女の比率は把握していませんが、女性や若い世代の参加を引き続き促進してまいります。私立校については、複数の学校と協定を締結し、区立小・中学校等の収容状況に応じて開設する「二次的な避難所」としてあります。今後も、私立校等に協力を呼び掛け、二次的な避難所の確保に努めてまいります。また、町会に加入しないマンション住民が避難所に避難した場合には、適切に受け入れることとしております。
54	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	49 災害に強い都市基盤の整備	災害に強い基盤整備として、神田川対策はどうなっているのか？また坂道が多い町の対策はどうなっているか？ピーポクんの家のように防災協力の家を募り、災害時の在宅避難者食料配布拠点や、帰宅困難者等への支援拠点にするなどにより共助体制整備を進められないか？	都による神田川・環状七号線地下調節池の整備をはじめ、止水板の整備や水位計による常時監視等の対策を行っております。水害対策に関する各種広報媒体や水害ハザードマップ等の全戸配布によるソフト対策に加え、神田川沿岸の事業者やマンション所有者等の同意を得て、台風やゲリラ豪雨などの風水害時に、一時的な垂直方向に避難する滞り場所(垂直避難場所)を11か所確保しています。また、新宿区との連携により、神田川沿岸地域の住民を対象としたワークショップを開催し、情報共有に努めています。在宅避難者及び帰宅困難者への支援は、避難所や帰宅困難者一時滞在施設での食料等を配付することとしておりますが、頂いたご意見も参考に一層の整備に努めてまいります。

No.	主要課題等		意見の内容	区の考え方	
55	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	50 防災拠点機能の強化	当区に居住して感じる不安が、人口密度の高い地域であるため、もし地震等の災害発生時に避難所のキャパシティや備蓄品が足りているのか、また地域の人との交流が希薄な中で有事に助け合うことができるのか、ということである。 当主要課題については、継続的に推進していただきたい。	地域防災計画における被害想定を踏まえ、避難スペースの確保や備蓄品の配備に努めるとともに、原則在宅避難を推進するための取組や、その必要性の周知に努めております。また、災害時の共助による助け合いは大変重要であるため、「共助」の大切さを認識していただくための啓発や地域での訓練を継続的に実施してまいります。
56	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	50 防災拠点機能の強化	避難所についてジェンダーの視点に立って設計、運営をしていただければと考えています。女性が尊厳を傷つけられないよう、制服警官や制服自衛官、また制服着用の消防団などの常駐は有効であると考えますし、警察、自衛隊等関係先との調整を、急ぎお願いしたいと願います。	避難所運営については、パーテーション等によるプライベート空間の確保や、生理用品の充実等を進めております。また、妊産婦・乳児救護所においては、発災時、警察官が警備する計画としております。警察、自衛隊等の関係機関とは、災害を想定した訓練や情報交換等を行っており、引き続き全ての避難者に配慮した避難所運営に努めてまいります。
57	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	50 防災拠点機能の強化	情報は災害時には大切だが、デジタルサイネージやWiFi整備マップなどはあるか？避難所となる学校は、日頃から地域のランドマークになる取り組みをそれぞれ行っているか？ 備蓄リストの災害用品は地域の特性に沿っているか？コロナ以外にも衛生環境が悪化し体力が落ちると感染症が発生したりする。高齢者や慢性疾患保有者には命とりにもなりかねない。感染対策の備品等は揃えているか？	デジタルサイネージによる情報発信は、シビックセンター1階及び地下2階で行っております。今後も、様々な広報手段を活用し、効果的な情報発信に努めてまいります。避難所となる区立小・中学校等へのWiFi環境は、全て整備されております。その他の施設については、区ホームページに掲載しておりますが、引き続き、分かりやすい周知に努めてまいります。 また、避難所ごとに町会・自治会、学校教職員、PTA、民生委員・児童委員、区職員等で構成する避難所運営協議会を設置しており、避難所運営訓練等を通じて、地域における災害時の拠点としての取組を引き続き、実施してまいります。 備蓄物資については、全ての避難所に共通のものを備蓄し、避難者数に応じて数量等を調整しております。また、居住空間における感染症対策としてパーテーションやエアマット等の備蓄物資に加え、マスクや検温器、アルコール消毒液等の物資を相当数備蓄しております。
58	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	51 災害時の要配慮者への支援	災害情報システム再構築後は、アプリやTwitter、Lineなどの周知を区で責任を持って行っていただくことが重要かと思えます。最低限、ボランティアセンターの職員や災害拠点の職員にはこういったツールが行きわたるようにダウンロード用のチラシなどを配布するのも有効かと思えます。	再構築している災害情報システムは、災害時における区民からの情報収集や、リアルタイムでの情報提供が可能となるなど有用な機能が盛り込まれます。これらのシステム内容について、区報や区ホームページ、チラシのほか、SNS等を活用し、幅広く周知啓発に努めてまいります。また、区職員を対象とした操作研修を実施し、システムへの理解・習熟を図るとともに、防災関係機関に対し、必要な周知を行ってまいります。
59	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	51 災害時の要配慮者への支援	5月改正の災害対策基本法の2つの改正ポイント、避難指示への一本化と個別避難計画の進捗または今後の計画を教えてください。手挙げ式の登録制度の存在を知らない人や登録していても支援はそこまで必要ないと予想される人の対策等はどうか？また、避難支援は誰がする予定か？ 開設キット訓練をした避難所は年間何回定例会議を行い、役員がどのくらい使いこなせるようになっているか？	避難指示への一本化に関する周知については、本年9月に全戸配布した防災ガイドや町会・自治会掲示板へのポスター掲示等で行ったところです。今後も出水期前に、区報や区ホームページ、SNS等を活用し、周知啓発に努めてまいります。 個別避難計画については、平成28年度から作成に取り組んでおり、名簿登録者に対する計画への理解の促進や定期的な作成勧奨の通知等により、作成率の向上に努めているところです。 また、平常時の啓発は、民生委員・児童委員、高齢者あんしん相談センター及び障害者基幹相談支援センターの協力により行っております。引き続き、国のガイドラインや先進自治体の取組事例等を参考に、よりよい制度運営に努めてまいります。避難支援は、避難行動要支援者の安否確認者や、民生委員・児童委員、町会・自治会にご協力いただくこととしており、日頃からの見守り活動を通じて、要支援者と顔の見える関係をつくり、災害時の支援につなげてまいります。 避難所開設キットを活用した訓練を行った避難所では、年間平均して1～2回の会議を実施しており、避難所運営協議会会長をはじめ、町会長や役員の方が参加しています。避難所開設キットの習熟度は、各避難所で異なりますが、訓練や会議等の機会を捉えて、誰もが使いこなせるよう、周知・啓発を行ってまいります。
60	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	52 地域の犯罪抑止	地域見守りの活動を本郷2丁目では見かけるがこれは区内の全ての町会が実施しているのか？ ペット防災等を進めて、散歩を兼ねた見守りをしたらどうか？	令和2年度末時点で、全町会の約76%に当たる117町会が安全・安心まちづくり推進地区として、防犯対策を推進しています。 新型コロナウイルス感染症の影響により、区民が地域で過ごす時間が長くなったことで、自然に「ながら見守り」の強化が図られたことが、本区の刑法犯認知件数の減少につながっているものと推測しています。 区内においては、散歩やジョギングの際に行う「ながら見守り」が、一定程度行われているものと捉えています。 なお、区内では千駄木わんわんパトロール隊やNPO法人文京動物愛護協会によるわんわんパトロールが行われています。

No.	主要課題等			意見の内容	区の方考え方
61	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	53 管理不全建築物等の対策の推進	空き家を借り入れ地域の災害関連のNPO等とかに貸し出したり、支援拠点等にしたり、サロンとして利用するなどできたら、防犯カメラの代わりにするのではないかと？また連携が進まないか？	区が空家を借り入れることは行っておりませんが、空家事業として、利活用を希望する空家所有者と利用希望者とをマッチングする利活用事業を行っております。 現在、所有者からの登録申請がない状況ですが、今後も区報や区設掲示板、ホームページ等、様々な方法で事業の周知を行ってまいります。
62	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	54 総合的な交通安全対策の推進	自転車対策について、区内の駐輪場の数の拡充が必要と考える。 駐輪場が満車で駐輪できないことが多い。また、茗荷谷駅の駐輪場、タワー設備の片方が相当の期間、故障中で使用できない状態が続いている。	自転車駐輪場の拡充については、茗荷谷駅付近では令和5年4月に中央大学茗荷谷キャンパス（(仮称)大塚1-58番付近）内に、一時利用制及び定期利用制自転車駐輪場を開設する予定です。また、今後も自転車駐輪場の新規設置や、定期・一時利用の配分の更なる適正化等、自転車を適切に止められる駐輪環境の構築に努めていきます。 茗荷谷中央第二自転車駐輪場は、世界的な半導体不足の影響により、修理に必要な部品が調達できない状況です。部品を調達後、速やかに修理を行う予定です。
63	戦略点検シート	基本政策5 環境の保全と快適で安全なまちづくり	54 総合的な交通安全対策の推進	育児世代の自転車が朝と夕方猛スピードで歩道を我が物顔で疾走していて、事故が心配であるが、条例で、歩行者と自転車の棲み分けを決めるなどできないのか。	自転車は、道路交通法において軽車両に位置付けられ、原則として車道を通行することと定められております。例外として、道路標識等で指定されている場合、13歳未満もしくは70歳以上の方が運転する場合、身体が不自由な方が運転する場合、自転車の通行の安全を確保するためやむを得ないと認められる場合に、歩道を徐行して通行することができ、その場合もすぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければならないこととなっております。 既に法律で定められていることから、区では交通管理者である警察と協力し、自転車利用者に対して、様々な機会を捉えて、ルール遵守・マナー向上の周知・啓発を行うとともに、自転車通行空間の整備を計画的に進めることで、歩行者と自転車の分離を図り、歩道の安全性を高めるよう努めてまいります。
64	行財政運営	基本政策6 持続可能な行財政運営	キャッシュレス化の推進	「キャッシュレス化の推進」ですが、キャッシュレスサービスが様々ある中で、行政がある特定のシステム(PayPay)を応援するようなことはよくないと思うので、この施策については、システムを導入する事業者への補助など、ベース部分の支援をやっていくべきではないか。	行政のキャッシュレス化の推進にあたっては、区民ニーズを把握し、窓口における事務の効率性やコスト等を検証の上、総合的に検討してまいります。 なお、現在実施中のPayPayと連携したキャッシュレス決済ポイント還元事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている区内商店の支援と商店街の活性化を目的に、文京区商店街連合会(区商連)が主催している事業です。事業者の選定等は区商連が行っており、区は区商連に対して経費等の補助をしております。 また、区では、キャッシュレス決済を含む「新しい生活様式」を踏まえた事業展開に関して、区内商店を対象とするセミナーを開催するなど、側面的な支援を行っております。
65	行財政運営	基本政策6 持続可能な行財政運営	区の情報発信・収集の充実	LINEの公式アカウントについて、友だち登録数が少なく感じます。区について知ることができるとても良いツールだと思いますので、区民への周知、内容の充実を図り、登録数を増やして頂きたいと思っております。	本区の情報発信を効果的・効率的に行うにあたり、LINE公式アカウントの機能の充実を図ります。また、登録者を増やすために、区報やホームページ、SNS、チラシの掲示など様々な情報発信ツールを活用することで、広く区民等へ周知してまいります。
66	行財政運営	基本政策6 持続可能な行財政運営	改革志向の職員育成	シート16に記載されている「文京区職員育成基本方針」を拝見しました。 職員育成の目標や職員に求められる役割・能力の記載も大変評価できるものと考えます。 そして、職員が新しい専門職としてプロフェッショナルリズムを自覚して職務を遂行することを期待したいと思います。 私見ですが、プロフェッショナルリズムにとって重要なことは、職務の中で「正義とは何か」を問い続けて、組織がバランスを心がけることではないかと考えています。	職員育成のための研修実施計画の策定等において、参考とさせていただきます。

No.	主要課題等			意見の内容	区の考え方
67	行財政運営	基本政策6 持続可能な行財政運営	改革志向の職員育成	<p>【行財政の運営の視点】4 質の高い区民サービスを支える組織体制の構築 (1)組織の活性化・事務の合理化 1改革志向の職員育成</p> <p>標記で、職員に必要な基礎的能力として示されている3つの能力「人事評価規定で求められる能力」「職員自身が必要だと認識している能力」「公務員として当然に有すべき倫理」につきましては、日常の業務を間違いなく、淡々とこなすために必要な能力としてならよくわかりますが、3つの能力を備えることと改革志向とを、どうつなげて考えればよいのか理解しにくいところがあります。人的な余力と予算があれば、経営学系、公共政策学系大学院なりに官費で派出し、公企業私企業など外部との交流を持たせてもいいのではないかと考えます。</p>	<p>「人事評価規程で求められる能力」には、課題に対する対応力や創意工夫を凝らした企画力(解決力)、バランス感覚や先見性等も含まれており、3つの基礎的能力を向上するための研修を実施することにより、改革志向の職員の育成に努めています。</p> <p>ご意見のありました点については、次回策定時の参考とさせていただきます。</p> <p>また、大学院公共経営研究科等への受講費助成については、将来の幹部職員としての育成等を図るとともに、当該職員が習得した成果を区政に還元することを目的として実施しています。今年度の実績はありませんが、今後も研究内容及び期待される成果等を総合的に判断し、実施してまいります。</p>
68	行財政運営	基本政策6 持続可能な行財政運営	区職員と教員の働き方の見直し	<p>このコロナ禍を機に、小学校・中学校のリモート授業ができる環境の整備、区職員のリモートワークができる環境の整備に十分な投資を行うことがこれからの世代の教育・IT推進にも繋がると思います。区職員の方の中には、リモートワークについていけない方もいらっしゃるかもしれませんが、それについては業務をIT系のみを行う人、書類仕事だけを行う人など部署内業務を区分するなど、組織業務の改革も併せて行っていくことが求められるのではと考えます。</p>	<p>テレワークの実施については、各所属の職務の性質等を考慮しながら、実施をしているところであります。今後も、区民サービスの提供体制を堅持しながら、既存の業務内容や働き方を見直し、職員の多様な働き方を実現してまいります。</p>